

霧が丘地区 地区別計画

(平成 23 年度～平成 27 年度)

霧が丘地区別計画策定会議



地域 霧が丘 1～6 丁目

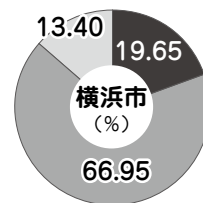
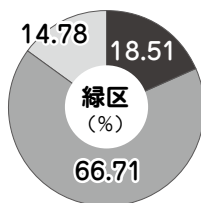
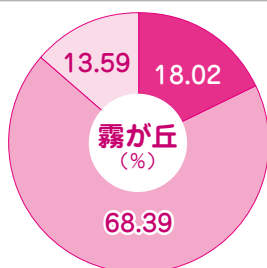
区の西方に位置し、南側は旭区に接している。昭和 54 年に日本住宅公団(現在の霧が丘グリーンタウン)の 1 次入居が始まり、昭和 56 年に十日市場町から区域変更された比較的新しい街。計画的に整備されていることが特徴的(街路樹、歩行者専用道路・通称「赤道」)。緑豊かな公園が点在し、恵まれた自然環境は東側に隣接する新治市民の森に続く。

住民の活動の場所として平成 20 年に横浜市初の小学校跡の建物利用として複合施設「霧の里」がオープンした。

<年齢区分別人口>

■ 高齢化率(65 歳以上) ■ 生産年齢人口比率(15 歳～64 歳) ■ 年少人口比率(0～14 歳)

人口比率



人口

| | |
|---------|----------|
| 75 歳～ | 697 人 |
| 65～74 歳 | 1,499 人 |
| 15～64 歳 | 8,332 人 |
| 6～14 歳 | 1,056 人 |
| 0～5 歳 | 600 人 |
| 合計 | 12,184 人 |

| | |
|---------|-----------|
| 75 歳～ | 13,477 人 |
| 65～74 歳 | 19,300 人 |
| 15～64 歳 | 118,114 人 |
| 6～14 歳 | 15,913 人 |
| 0～5 歳 | 10,269 人 |
| 合計 | 177,073 人 |

| | |
|---------|-------------|
| 75 歳～ | 318,878 人 |
| 65～74 歳 | 408,869 人 |
| 15～64 歳 | 2,478,327 人 |
| 6～14 歳 | 302,625 人 |
| 0～5 歳 | 193,838 人 |
| 合計 | 3,702,537 人 |

- 高齢化率 18.02% は、緑区の 18.51% より 0.49%、横浜市の 19.65% より 1.63%、それぞれ低くなっている。
- 生産年齢人口(15 歳～64 歳)の割合 68.39% は、緑区の 66.71% より 1.68%、横浜市の 66.95% より 1.44%、それぞれ高くなっている。

平成 22 年(2010 年)9 月末



地区別計画策定会議の開催状況

平成 22 年 10 月 23 日(土) 15 時～17 時 会場:霧の里
霧が丘地区では、地域の 13 自治会からメンバーが集まり、霧が丘地区の地区別計画策定に向けて、高齢者支援を中心に話し合いました。会議では、現在取り組んでいただいている活動や取組について確認し、平成 23 年度からの 5 年間に、どのような取組をしていくかについて意見を出し合いました。

策定会議通信発行

<霧が丘地区で現在行われている取組・活動>

基本目標 1

地域での「つながり」を大切にするまちづくり

- 霧が丘盆踊り大会
- 霧が丘大運動会
- どんど焼き
- 新春歩こう会
- 霧が丘配食サービス
- 霧が丘理美容サービス
- 霧が丘会食会(高齢者の昼食会)
- 霧の里交流「ゆうゆう霧が丘」をケアプラザとコミュニティハウス合同で実施
- 霧が丘好縁ひろば事業「コンサート広場」による団塊の世代の交流促進
- 歌声広場「区民のきずなコンサート」による地域住民の交流促進
- ふれあいまつりとバザー など

基本目標 2

「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり

- ボランティア相談室
- 霧が丘小学校の家庭科等での授業支援
- 認知症サポーター養成講座 など

基本目標 3

みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり

- 花いっぱい活動
- 沿道美化活動
- コーラスサロン、歌声広場
- 「区民のきずなコンサート」
- 家族介護者の集い(介護者の交流会)
- 霧の里地域ヘルスプロモーション
- 霧が丘会食会(高齢者の昼食会)
- 昔のくらし(霧が丘小学校児童と高齢者の会食会)
- 昔あそび(高齢者が1年生に昔あそびを教える)
- 小中学校で高齢者疑似体験の授業
- ふれあいまつりとバザー など

基本目標 4

必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

- 広報「霧が丘」の発行
- 「防犯・防災・環境ニュース」の発行
- 福祉情報マップ「まるごと霧が丘」の発行
- 社会福祉講座(地域住民の健康・福祉の推進のための講演会、健康講座)
- 霧が丘地域ケアプラザホームページ、ケアプラザ通信の発行
- 地域包括支援センターによる情報提供や講座の開催
- 広報紙の発行による区、地区社会福祉協議会の活動紹介 など

基本目標 5

「安心・安全・健康」のまちづくり

- 防災訓練(夜間宿泊訓練も含む防災訓練)
- 防災講演会
- 防犯パトロール
- 防犯講演会
- 防犯連絡所会議
- 交通安全教室
- 喫煙防止教室
- 健康体操、講座実施、各種事業支援
- フレスコ体操、健康チェックの日、体力向上プログラム、霧が丘探検ウォーキング
- 老人会への介護予防講座 など

現在の課題

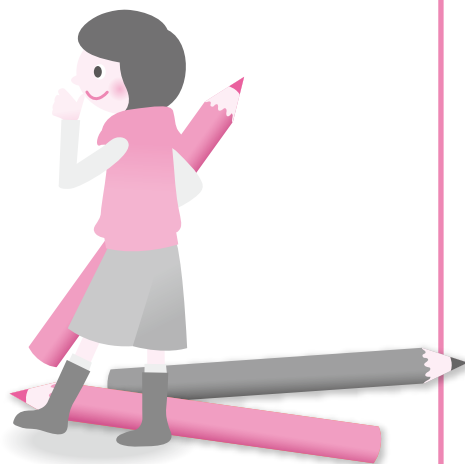
- 現在行われている、さまざまな活動や取組を継続及び発展させていくことが課題。
- 現在の取組について、必要に応じて再構築を行い、発展させることを中心にしながら、可能な範囲で新たな活動・取組も行っていく。
- 活動について、地域の方々に知っていただき、参加者や担い手の増加につなげることが課題。ボランティア活動の継続のためにも、活動を知ってもらうための工夫が必要。
- 「みどりのわ・ささえ愛プラン」の周知が課題。取り組んできたことが、プランと関係していることも知られていないので、プランや方針の中で行われている活動・取組について、きちんと周知する。



- 現在の活動・取組の継続及び発展が、今後の活動の中心となる課題。
- 活動の担い手・受け手の双方を増やしていくことも課題のひとつ。
- 地域の方々に活動・取組を周知・浸透させるための情報発信も課題。

今後の取組

- 現在行われている取組を継続し、必要に応じて見直しを含めた再構築を行い、よりよいものに発展させていく。
- 広報「霧が丘」、「防犯・防災・環境ニュース」の発行等による情報発信を行い、地域の方々に霧が丘で行われている活動について周知するとともに、参加者や担い手の増加につなげていく。
- 「みどりのわ・ささえ愛プラン」の周知を行い、プランと霧が丘の取組の関係について、情報を発信していく。





緑区 地域福祉保健計画
地域福祉活動計画

霧が丘地区・地区別計画策定会議
平成22年11月発行

みどりのわ・ささえ愛プラン

霧が丘地区・地区別計画策定会議通信

霧が丘地区別計画策定会議を開催しました！

霧が丘地区では、地域の13自治会からメンバーが集まり、霧が丘地区の地区別計画策定に向けて、高齢者支援を中心に話し合いました。

日時：平成22年10月23日（土）15時～17時

会場：霧の里

～ 「みどりのわ・ささえ愛プラン 地区別計画」とは ～

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、わたしたち一人ひとりが住みなれた地域で、自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるよう、区民の方々や団体・事業者の皆様、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所が協働で共にささえあうまちづくりを進めていくための計画です。

その中でも、「地区別計画」は、日々の暮らしの中で起きている身近な地域での“福祉・保健”に関する課題の解決に向けて、地域の皆さんが検討し、取り組んでいくための計画です。

霧が丘地区ではこんな活動をしています

現在、霧が丘地区ではさまざまな活動や取組が行われています。「みどりのわ・ささえ愛プラン」の5つの基本目標にあわせ、高齢者支援を中心とした活動・取組の中から一部を紹介します。

基本目標1 地域での「つながり」を大切にするまちづくり（つながり）

- ◆霧が丘盆踊り大会 ◆霧が丘大運動会 ◆どんど焼き ◆新春歩こう会
- ◆霧が丘配食サービス ◆霧が丘理美容サービス ◆霧が丘会食会（高齢者の昼食会）
- ◆霧の里交流「ゆうゆう霧が丘」（霧が丘コミュニティバス・地域ケアプラザ）での活動の発表や展示、紹介）

基本目標2 「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり（人材・担い手）

- ◆ボランティア相談室 ◆霧が丘小学校の家庭科等での授業支援 ◆認知症サポーター養成講座

基本目標3 みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり（機会・場）

- ◆花いっぱい活動 ◆沿道美化活動 ◆コーラスサロン・歌声広場 ◆区民のさすなコンサート
- ◆家族介護者の集い（介護者交流会）◆霧の里地域ヘルスプロモーション

基本目標4 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり（情報）

- ◆広報「霧が丘」の発行 ◆「防犯・防災・環境ニュース」の発行
- ◆福祉情報マップ「まるごと霧が丘」の発行
- ◆社会福祉講座（地域住民の健康・福祉の推進のための講演会、健康講座）

基本目標5 「安心・安全・健康」のまちづくり（安心・安全・健康）

- ◆防災訓練（夜間宿泊訓練を含む） ◆防災講演会 ◆防犯パトロール ◆防犯講演会
- ◆交通安全教室 ◆喫煙防止教室 ◆健康チェックの日（各種測定や健康講座）

（注）基本目標とは、平成16年度から2ヵ年の間に開催された地区別意見交換会や分野別団体別インタビュー、区民アンケートによるさまざまなご意見を分類・集約し、5つのキーワードを核として設定された計画の基本理念となる目標です。

今回の会議では、現在取り組んでいただいている活動や取組について確認し、平成23年度からの5年間に、どのような取組をしていくかについて意見を出しあいました。

当日寄せられた主なご意見

- ◆現在、霧が丘地区ではすでにさまざまな活動や取組が行われている。今後については今の取組を継続し、できるものについて発展させていくべき。
- ◆配食サービスや理美容サービスなど、最近始まった取組もある。無理やり新しいものを増やすよりも、今行われている取組について、必要に応じて見直しを含めた再構築を行い、よりよいものにしていくことを中心にすべき。
- ◆活動について、地域の方々に知っていただくことが重要。周知がきちんとできていないと、参加者や担い手の増加につながらない。ボランティア活動の継続のためにも、活動を知ってもらうための工夫が必要。
- ◆「みどりのわ・ささえ愛プラン」自体が知られていない。取り組んできたことが、プランと関係していることも知られていないので、プランや方針の中で行われている霧が丘の取組について、きちんと周知するべき。

これらのご意見を踏まえて、これからの取組についての考え方をまとめました。

これから取り組んでいくこと

- ◆現在行われている取組を継続し、必要に応じて見直しを含めた再構築を行い、よりよいものに発展させていく。
- ◆広報「霧が丘」、「防犯・防災・環境ニュース」の発行等による情報発信を行い、地域の方々に霧が丘で行われている活動について周知するとともに、参加者や担い手の増加につなげる。
- ◆「みどりのわ・ささえ愛プラン」の周知を行い、プランと霧が丘の取組の関係について、情報を発信する。



当日の話し合いの様子



今回の話し合いの内容をもとに、霧が丘地区の地区別計画の素案をまとめていきます。

☆「みどりのわ・ささえ愛プラン」の情報については、緑区ホームページでも紹介しています。

アドレス：<http://www.city.yokohama.lg.jp/midori/>

<連絡先> 霧が丘地区・地区別計画策定会議事務局 電話 930-2307 (緑区 高齢・障害支援課長 西川)